

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA
科目名 / Course Title	国際交流論 2 / International Communication 2
担当責任者 / Instructor	林 春
開講期 / Semester/Term	後期 / AUTUMN
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4
単位数 / Credits	2.0
分野・必修選択別 / Category/Required or Elective	基礎分野選択, 総合基礎科目選択 選択 / Elective
科目ナンバー / Course Number	IHR1-03004

ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy/Learning Outcome	要件所属・要件年月 / Course Name・Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy/Learning Outcome	DP値 / DP Point
	経済学部地域経済学科(202004)	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部(202004)	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科(202004)	DP1・柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科(202104)	国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	理工学部(202104)	学修目標 1 国際性を有し、異文化を理解し、尊重できる。	1
		学修目標 2 論理的・批判的思考、能動的な態度を有する。	1
		学修目標 3 人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する。	1
	医療技術学部柔道整復学科(202104)	DP1・柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識を有する。	1
	経済学部地域経済学科(202204)	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1
		さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1
	理工学部機械・精密システム工学科(202204)	人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1
		異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1
	理工学部情報電子工学科(202204)	多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる	1
		人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1
	理工学部バイオサイエンス学科(202204)	専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている(一般教養)	1
あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を意識して行動できる(生命倫理)		1	
医療技術学部柔道整復学科(202204)	幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1	
経済学部地域経済学科(202304)	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を活用して社会を多角的に説明する	1	
	さまざまな文化に関する知識をもって各地域に共通する問題を解決するための提案ができる	1	
理工学部機械・精密システム工学科(202304)	人文科学、社会科学、自然科学の幅広い知識から、人類や社会の福祉 増進について考察・判断することができる	1	
	異なる文化や伝統に関する知識をもって、多様な考え方を受け入れて判断することができる	1	
理工学部航空宇宙工学科(202304)	人文科学、社会科学、自然科学に関する知識を習得し、専門的な活動に活用できる	1	
	航空宇宙分野の問題において、広い分野からの知識をもって問題を判断できる	1	
理工学部情報電子工学科(202304)	多様な背景をもつ人々に対する理解や想像力を柔軟に育みつづけることができる	1	
	人間と社会と環境の関係の重要性を、人文科学・社会科学・自然科学の知識を元に理解することができる	1	
理工学部バイオサイエンス学科(202304)	専門的な知識にのみに偏らず、豊かな教養を身につけている(一般教養)	1	
	あらゆる生命を大切にし、多様な生命との共存を	1	

要件所属・要件年月 / Course Name / Requested Month and Date	ディプロマポリシー、修得目標 / Diploma Policy/Learning Outcome	DP値 / DP Point
	意識して行動できる (生命倫理)	
医療技術学部柔道整復学科 (202304)	地域医療に貢献するために必要な行動を列挙できる	1
	幅広い教養を通して柔道整復師の意義を理解できる	1
授業の概要 / Course Description	今日、世界の多くの地域ではグローバル化がますます進み、政治、経済、社会、文化などいずれの領域でも、ヒト、カネ、モノ、情報が国境を越えて地球上を自由に行き交うようになっています。今日の日本社会は限りなくグローバル化しているとともに、実質的には多文化社会になっているといっても過言でもないです。まさに、「異文化コミュニケーションの時代」が到来したといえ、それだけに異文化コミュニケーションを真剣に学ぶ必要性があるとも言えます。このような背景を念頭に置きながら、本講義では、異文化コミュニケーションについて様々な視点から学びます。また、第4回から第10回までディスカッションを行います。なお、この授業では総合基礎科目の学修目標1、2、3に関する態度、知識、能力を修得します。	
授業の到達目標 / Course Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流と異文化について、理論と実践を通して理解し、国際的な感覚及び能力を身につけるようになります。 ・多様な文化を尊重し、異なる文化的背景をもつ人とコミュニケーションを取ることができるようになります。 ・国外の文化とそれらを背景に持つ人々の考え方を理解することができるようになります。 ・異文化を背景に持つ人々との共生の際の問題と現実的対応をすることができるようになります。 	
成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation	方法および基準 / Method of Evaluation	レポート / Report(s) 50 % リアクションペーパー / Reaction Paper 50 %
	その他コメント / Comments	100点満点で60点以上を合格します。
試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback
	その他コメント / Comments	
授業形態 / Course Style	講義 / Lecture	
この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 / Active Learning Method in Class	手法 / Active Learning Method in Class	グループワーク / Group Work
	その他コメント / Comments	
授業におけるICTの活用 / Use of ICT in Class	自主学習支援 (e-learning (LMS等) を活用) / Self-Study Support (Use of e-learning (LMS, etc.))	
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 / Study Required Outside of Class	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の内容を事前に予習するようにしてください。また、授業中に学習した内容をまとめた後、自分の考えや意見などを述べ、感想文として提出してください。(時間の目安: 合計2時間) ・そのほか、期末レポートに向けての復習などに1学期合計30時間程度の時間を割いてください。 	
教科書 / 参考資料 (図書・映像) / Textbooks and Reference Materials	教科書: 特に使用しません。各回使用される講義スライドを事前にLMSにアップロードします。 参考文献 書名: 『多文化共生のためのテキストブック』, ISBNコード (978-4-7503-3450-9) 著者・編者: 松尾知明 発行所: 明石書店	
その他履修上の注意点 / Notes	<ul style="list-style-type: none"> ・LMSを使用します。 ・授業のスケジュールは、進み具合やクラスの状況等により、内容が変更になる場合があります。 ・情報電子工学科を対象とするクラスにおいて、この科目はJABEE対応プログラムの必修科目 (選択必修科目)、学習・教育到達目標中項目1-1に対応する科目となります。 	
実務経験のある教員による授業 / Instructor's Practical Experience		
その他外部資料等	外部資料1 / File1	

	外部資料2 / File2	
	外部資料3 / File3	
	その他コメント / Comments	

授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教員 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	林 春	オリエンテーションを行う 授業概要及び評価方法を説明する グローバルゼーション	
第2回	林 春	・多文化共生社会とは何か ・「自民族中心主義」と「文化相対主義」 ・「同化主義」「多文化主義」から「多文化共生」へ	
第3回	林 春	・中国残留邦人 ・日系南米人 ・かつて日本は移民の送り出し国	
第4回	林 春	・技能研修生 ・看護師・介護福祉士の受け入れの現状	
第5回	林 春	・多文化との共生のために必要なこと ・文化接触とこころの反応	
第6回	林 春	・ほめ方 ・叱り方	
第7回	林 春	・言語コミュニケーションの謝り方 ・文化相対論	
第8回	林 春	・自己紹介 ・誘い方と断り方	
第9回	林 春	コミュニケーション・スタイル	
第10回	林 春	双方向コミュニケーション・ターンテーキング	
第11回	林 春	日本・中国・アメリカの贈物文化	
第12回	林 春	日本・中国・韓国の正月の民俗	
第13回	林 春	日本・中国・アメリカの大衆文化	
第14回	林 春	漢詩と日本文学者	
第15回	林 春	これまでの講義内容をまとめる	